

# 親子でつくろう!

ベランダ菜園

キュウリ  
(ウリ科)

栽培の難易度  
中 易

コンテナの大きさ  
標準 または 大型



## ベランダ栽培のポイント

- 1.最初の2〜3果は、株を疲れさせないために若どりする。
- 2.つる性なので支柱をしっかりと立てて、誘引する。
- 3.肥料切れしないように、化成肥料を月に2〜3回施す。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		■	■	■	■						
			■	■	■	■	■	■	■	■	■
					■	■	■	■	■	■	■

■ 種まき期間 ■ 植えつけ期間 ■ 収穫期間

**あつという間に大きく** キュウリは夏の風物詩のように思われがちですが、18〜25度と意外に冷涼な温度を好む野菜です。芽が出てから収穫までおよそ60日と、果菜類としてはもっとも早く生長する種類です。花が咲いてから7日程度で収穫できるので、油断しているとヘチマのように大きくなってしまいます。日当たりのよい場所に置き、たっぷり水やりします。

### スタート

## 種まき

ポットまき

ほかの夏野菜と同様に、市販の苗を購入して植えつけるのが一般的ですが、種から育てることもできます。ただし、最低気温15度以上になるように保温します。

#### 1.種をまく

3〜4号ポットに種まき用の土を入れ、表面を平にならします。指先で深さ1cmのまき穴を3か所にあげ、1粒ずつ種をまく。



#### 2.土をかぶせる

種の上に5〜10mmくらいの厚さに土をかぶせる。厚すぎると芽が出ないので注意。表面を手で押さえて落ち着かせ、たっぷり水やりする。



### 1週間後

## 間引き(1回目)

3〜4日くらいで発芽します。ほかの野菜に比べて双葉が大きいのがキュウリの特徴。双葉が開いたところで1回目の間引きをしましょう。



作業前

形が悪い双葉を取る

3本から2本にする

作業後



双葉の形の悪いもの、小さいものを間引いて2本にする。この時期、間引くには惜しい整った苗は、慎重に抜き取って植え替えをすることができる。

### 2週間後

## 間引き(2回目)

本葉が1枚しっかりと葉を広げたら、2本のうち生育状態のよい1本を残して間引きます。どちらも状態がいい場合は迷いますが、この時期では植え替えに向きません。1本立ちにすることでよい苗に育ちます。



間引く苗は株元近くを持って引き抜く。茎が折れやすいので、残す苗にダメージを与えないように注意。

### 5週間後

## 植えつけ

本葉が3〜4枚になったら、コンテナに植えつけます。種から育てた場合、関東地域で5月上〜下旬が植えつけ時期。市販の苗を利用する場合には、本葉が3〜4枚ついたらしっかりとした苗を選びます。

#### 1.植え穴をあける

コンテナに土を入れ、中央に根鉢より大きめの穴をあける。ポット苗の土とコンテナの土の高さがそろるように調整する。



#### 2.苗を植えつける

苗の株元を手のひらで支え、茎を手ではさむように持ち、苗をひっくり返してポットから抜く。

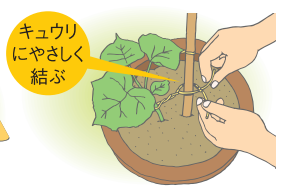


根鉢を崩さないように植え穴に入れ、周囲の土を寄せて根元を押さえて安定させる。たっぷり水やりする。



#### 3.仮支柱を立てる

植えつけ後、株から少し離れたところに短い仮支柱を立てる。茎にひもをやさしくかけ、3回ほど8の字にひねってから支柱にしっかりと結びつける。



キュウリにやさしく結ぶ

### 6週間後

## 支柱立て・追肥

植えつけ後1週間ほどで根が張ってきます。同時につるが伸びてくるので、本支柱を立てます。丸型コンテナで1株作りの場合は、支柱を3本立てて上でひとまとめにする方法が安定するのでおすすめです。

#### 1.支柱を立てる

長さ2mくらいの支柱を3本用意し、コンテナの縁に等間隔に立てる。上方でひとつひとつまとめてひもなどでしっかり縛っておく。



#### 2.支柱に誘引する

仮支柱のとときと同様に、ひもで誘引する。キュウリにやさしく、支柱にしっかりとポイント。生長に合わせて、順次茎やつるを誘引していく。

#### 3.追肥をする

株がしっかりと安定してきたら、株元に化成肥料10gをまき、土と軽く混ぜ合わせる。今後、1〜2週間に1回、同量を追肥する。1回にたくさん施すより、定期的な少量の追肥が効果的。

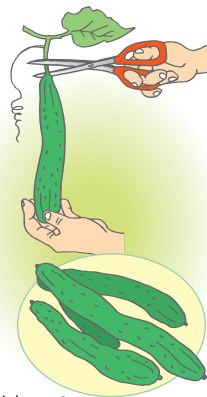


### 9週間後

## 収穫

最初の2〜3果は、株を疲れさせないため、太さ2〜3cm、長さ15cmくらいのうちに収穫します。その後は18〜20cmに育ったものから収穫します。とれたのみずみずしさを味わってください。

長さ18〜20cmで収穫。とり遅れると皮がかたくなって味が落ちるので、早めの収穫を。



### 13週間後

## 摘芯

主枝が支柱の高さまで伸びてきたら、先端をとめてわき芽の生長を促します。わき芽を伸ばして枝数を増やしていきます。切り口から雑菌が入るので、この作業は天気の良い日に行いましょう。

つるが支柱の高さになったら、先端を摘み取る。

